

2010年度(平成23年3月期)
第3四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社
2011年2月3日

経営成績

金額単位: 億円

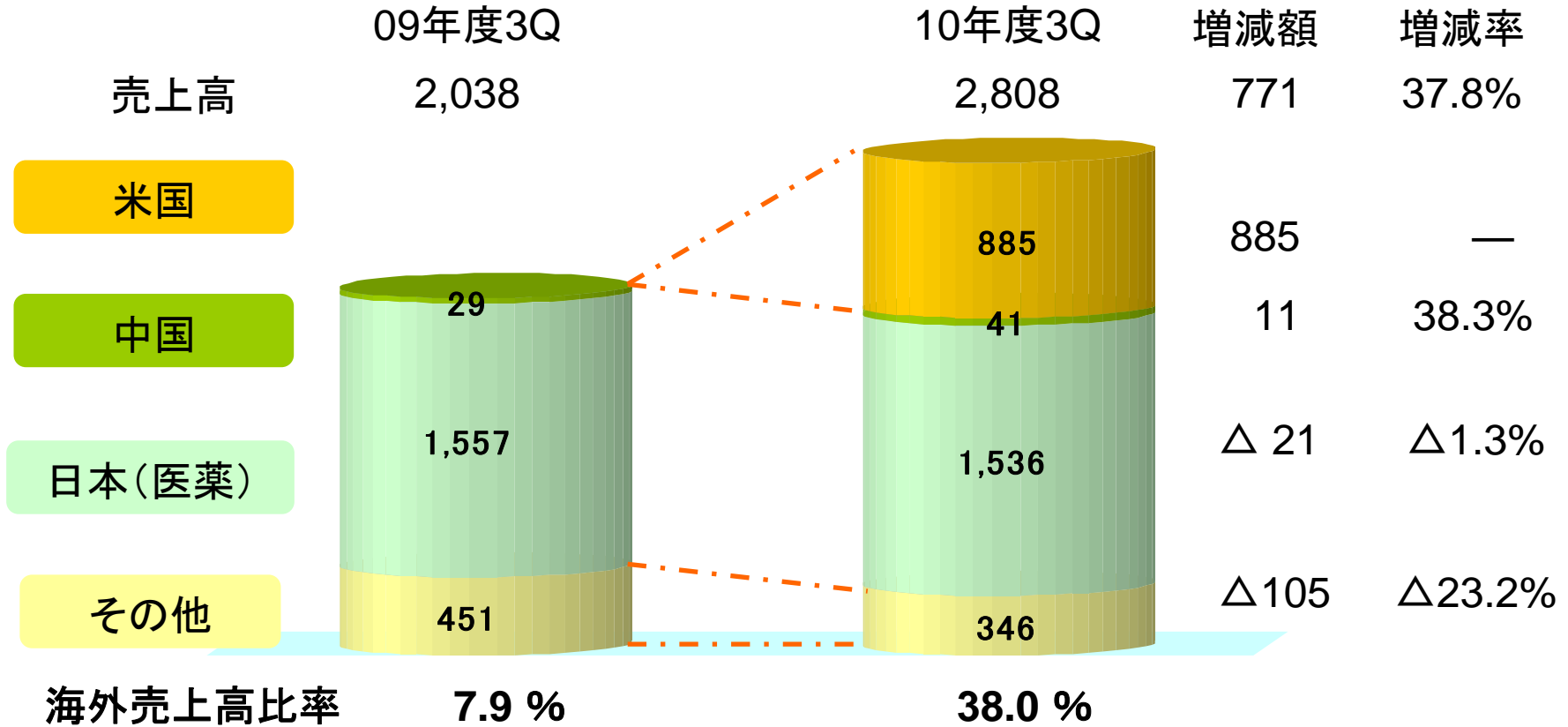
	09年度3Q	10年度3Q	前年同期比		10年度	
			増減額	増減率	業績予想	進捗率
売上高	2,038	2,808	771	37.8 %	3,650	76.9 %
販売費及び 一般管理費	927	1,700	773	83.4 %	2,385	71.3 %
研究開発費	357	463	107	29.9 %	670	69.1 %
営業利益	320	271	△ 49	△ 15.4 %	180	150.4 %
経常利益	318	262	△ 56	△ 17.6 %	155	169.0 %
四半期純利益	212	148	△ 64	△ 30.1 %	90	164.3 %

(注)1: 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

2: 業績予想は昨年10月29日に公表した数値であります。

売上高の内訳

金額単位: 億円



【日本(医薬)】

・薬価改定の影響を戦略品や新製品等の増収でカバー

【その他】

・動物薬事業分社化に伴いペットフードの売上計上額を手数料相当部分のみとした

日本(医薬)セグメントの売上高

金額単位: 億円

	09年度3Q	10年度3Q	前年同期比		10年度	
			増減額	増減率	業績予想 (10/29公表)	進捗率
アバプロ	24	61	37	149.7 %	80	76.2
ロナセン	47	68	21	44.2 %	105	64.9
プロレナール	121	115	△ 6	△ 4.8 %	155	74.4
戦略品 計	193	244	52	26.7 %	340	71.9
トレリーフ	6	27	21	350.1 %	34	78.6
ミリプラ	—	12	12	—	15	78.9
メトグルコ(メルビン含)	30	35	5	17.4 %	45	78.2
新製品 計	36	74	38	105.4 %	94	78.4
アムロジン	416	327	△ 89	△ 21.3 %	395	82.9
ガスモチン	162	160	△ 1	△ 0.8 %	204	78.6
メロペン	116	99	△ 18	△ 15.2 %	116	85.0
アムビゾーム	31	35	5	15.1 %	49	72.0
その他	476	459	△ 18	△ 3.7 %	596	76.9
輸出	128	138	10	8.1 %	179	77.0
合計	1,557	1,536	△ 21	△ 1.3 %	1,973	77.9

(注) 品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております。

米国および中国セグメントの売上高

金額単位：億円

	09年度3Q	10年度3Q	増減額	10年度 業績予想 (10/29公表)
ルネスタ	—	417	417	528
ゾペネックス	—	274	274	384
ブロバナ	—	69	69	93
オムナリス	—	36	36	49
工業所有権収入	—	53	53	68
その他	—	36	36	48
米国 計	—	885	885	1,170
メロペン	27	37	10	52
その他	2	4	2	
中国 計	29	41	11	57

(注)売上高には内部取引を含めておりません。

経営成績の内訳

2010年度3Q累計期間

金額単位：億円

	医薬品						その他	合計
	日本	米国 *1	取得原 価配分 の影響 *2	中国	消去	合計		
売上高	1,586	918	—	46	△ 87	2,463	345	2,808
外部顧客向け	1,536	885	—	41	—	2,462	346	2,808
内部取引	50	34	—	5	△ 87	1	△ 1	—
売上原価	442	90	34	15	△ 21	560	278	837
売上総利益	1,145	828	△ 34	30	△ 66	1,903	67	1,971
販売費及び一般管理費	826	604	240	18	△ 39	1,649	51	1,700
販売費・一般管理費	498	440	240	18	△ 5	1,192	45	1,237
研究開発費	327	164	—	—	△ 34	458	5	463
営業利益	319	224	△ 274	12	△ 28	254	17	271

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

* 1: 特許権、のれんの償却などサノビオン買収に伴う取得原価配分の影響を除く

* 2: 特許権、のれんの償却など

経営成績の内訳(日本(医薬))

金額単位:億円

	09年度3Q		10年度3Q		前年同期比	
		対売上高 比率		対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	1,567	—	1,586	—	19	1.2
外部顧客向け	1,557	—	1,536	—	△ 21	△ 1.3
内部取引	10	—	50	—	40	393.4
売上原価	411	26.2	442	27.8	30	7.4
売上総利益	1,156	73.8	1,145	72.2	△ 11	△ 1.0
販売費及び一般管理費	866	55.2	826	52.0	△ 40	△ 4.6
販売費・一般管理費	513	32.8	498	31.4	△ 15	△ 2.9
研究開発費	352	22.5	327	20.6	△ 25	△ 7.1
営業利益	291	18.5	319	20.1	29	9.8

(売上原価)

- ・薬価改定の影響等により原価率上昇

(販売費及び一般管理費)

- ・販売促進費、広告宣伝費等の減少
- ・ルラシドン海外臨床開発費の減少等

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

経常利益および四半期純利益

金額単位: 億円

	09年度 3Q	10年度 3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益	320	271	△ 49	△ 15.4 %
営業外損益	△ 2	△ 9	△ 7	
金融収支(受取配当金を含む)	6	△ 1	△ 7	
寄付金	△ 11	△ 10	△ 0	
その他	3	3	0	
経常利益	318	262	△ 56	△ 17.6 %
特別損失	—	22	22	
減損損失	—	22	22	
法人税等	107	92	△ 15	
四半期純利益	212	148	△ 64	△ 30.1 %

普通社債の発行について

2011年1月27日開催の当社取締役会において、国内無担保普通社債の発行について包括決議を行った。

《主な決議内容》

発行総額	500億円以内
払込期日	2011年3月31日まで
償還期限	7年以内
資金使途	借入金返済

《借入金の状況》～単体(2010年12月末)～

	残高(億円)
短期借入金	1,000
1年内返済予定の長期借入金	100
長期借入金	455
合計	1,555

2010年度 通期業績予想

2010年度通期業績予想

金額単位：億円

	09年度 通期実績	10年度		増減額	
		業績予想 (10/29発表)	修正予想 (2/3発表)	対前年度	対10月予想
売上高	2,963	3,650	3,650	687	—
販売費及び 一般管理費	1,484	2,385	2,345	861	△40
研究開発費	514	670	640	126	△30
営業利益	356	180	220	△136	40
経常利益	338	155	195	△143	40
当期純利益	210	90	110	△100	20
E B I T D A	564	668	695	131	27

※EBITDA:税金、利息、減価償却費、特別損益控除前利益

(業績予想修正の理由)

- ・研究開発費を中心とした販売費及び一般管理費の減少
- ・導入・提携等に必要となる費用は算入していない

2010年度業績予想の内訳(4Q予想)

金額単位:億円

	上半期 実績	3Q 実績	3Q 累計	4Q 予想	下半期 予想	通期 予想
売上高	1,886	922	2,808	842	1,764	3,650
	(30.7%)	(28.1%)	(29.8%)	(29.4%)	(28.7%)	(29.7%)
売上原価	578	259	837	248	507	1,085
売上総利益	1,307	663	1,971	594	1,258	2,565
販売費及び一般管理費	1,158	542	1,700	645	1,187	2,345
販売費・一般管理費	830	407	1,237	468	875	1,705
研究開発費	328	135	463	177	312	640
	(7.9%)	(13.1%)	(9.6%)	(-6.1%)	(4.0%)	(6.0%)
営業利益	149	121	271	△ 51	71	220

2010年度業績予想の内訳

金額単位：億円

		医薬品					合計	その他	合計
		日本	米国*1	償却影響*2	中国	消去			
昨年10月予想	売上高	1,995	1,215	-	64	△ 74	3,200	450	3,650
	売上原価	564	126	34	23	△ 20	727	358	1,085
	売上総利益	1,431	1,089	△ 34	41	△ 54	2,473	92	2,565
	販売費及び一般管理費	1,156	859	321	31	△ 52	2,315	70	2,385
	販売費・一般管理費	678	631	321	31	△ 7	1,654	61	1,715
	研究開発費	478	228	-	-	△ 45	661	9	670
	営業利益	275	230	△ 355	10	△ 2	158	22	180
今回予想	売上高	2,039	1,221	-	60	△ 114	3,206	444	3,650
	売上原価	579	126	33	21	△ 27	732	353	1,085
	売上総利益	1,460	1,096	△ 33	39	△ 87	2,474	91	2,565
	販売費及び一般管理費	1,121	863	314	29	△ 52	2,275	70	2,345
	販売費・一般管理費	674	634	314	29	△ 7	1,644	61	1,705
	研究開発費	447	229	-	-	△ 45	631	9	640
	営業利益	339	233	△ 347	10	△ 35	199	21	220
増減	売上高	44	6	-	△ 4	△ 40	6	△ 6	-
	営業利益	64	3	8	-	△ 33	41	△ 1	40

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

*1: 特許権、のれんの償却などサノビオン買収に伴う取得原価配分の影響を除く

*2: 特許権、のれんの償却など

臨床開発の現況

臨床開発の現況 (2011年2月3日現在)

	承認	申請中	第Ⅲ相	第Ⅱ相	第Ⅰ相
国内	<p>シュアポスト (レパグリニド) (糖尿病)</p>	<p>メロペン: 上限用量変更 (一般感染症/ 重症・難治例)</p>	<p>ルラシドン (統合失調症)</p> <p>シュアポスト (レパグリニド) (糖尿病/ TZD剤・BG剤併用)</p>	<p>AS-3201 (糖尿病合併症)</p> <p>SMP-986 (過活動膀胱)</p> <p>DSP-8153 (高血圧症/配合剤)</p>	<p>DSP-3235 (糖尿病)</p> <p>DSP-3025 (喘息、鼻炎)</p> <p>WT4869 (骨髄異形成症候群)</p>
海外	<p>LATUDA® (ルラシドン) 米国 (統合失調症)</p> <p>新有効成分</p> <p>適応症追加等</p> <p>* サノビオンのパイプライン</p>	<p>STEDESATM 米国* (てんかん(併用療法))</p>	<p>LATUDA® (ルラシドン) 米国・欧州等 (双極性障害うつ)</p> <p>アムルビシン塩酸塩 中国 (小細胞肺癌)</p> <p>シクレソニド HFA Nasal Aerosol 米国* (アレルギー性鼻炎)</p> <p>STEDESATM 米国* (てんかん(成人単剤))</p>	<p>SMP-986 米国・欧州 (過活動膀胱)</p>	<p>DSP-7238 欧州 (糖尿病)</p> <p>DSP-8658 米国 (糖尿病)</p> <p>DSP-8658 米国 (アルツハイマー病)</p> <p>SEP-228432 米国* (神経因性疼痛、 大うつ病)</p>

臨床開発 進捗状況 (2010年10月29日からの主な変更点)

- シュアポスト(レパグリニド) : 国内で承認(薬価収載待ち)
 - 2011年1月承認
 - 適応症: 2型糖尿病における食後血糖推移の改善
- WT4869: 国内第 I / II 相試験に新規掲載
 - WT1がんペプチドワクチン(中外製薬との共同開発)
 - 骨髄異形成症候群を対象に第 I / II 相試験の第 I 相段階を開始
- DSP-8658: 予定適応症にアルツハイマー病を追加
 - PPAR α / γ モジュレーター
 - 既存の治療薬とは異なるメカニズムによる対症療法的な認知改善作用に加え、脳内 β アミロイド低下作用に基づく根本治療効果を示すことを期待
- SMP-028: 気管支喘息の開発中止により削除
 - 期待したクライテリアを達成できなかったため開発を中止
- ALVESCO[®] HFA: 効能追加(小児)の開発中止により削除
 - 事業性評価の結果、開発を中止

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況(1)

米国

■ 統合失調症治療剤「LATUDA®」の発売

- 2010年10月28日(米国時間) 米国FDAの販売許可を取得
- 2011年2月4日(米国時間) 米国で発売予定

■ 統合失調症 継続中の主な試験

- PEARL#3試験: プラセボ及び実薬(クエチアピンXR)対照第Ⅲ相試験
6週間投与部分終了、米国の学会(ACNP:2010年12月)にてデータ発表
継続投与(1年)実施中
- PEARL Safety試験: 長期安全性投与試験
1年間投与終了。1/25に結果概要を開示、2011年に開催の学会にて詳細結果を発表予定
継続投与(6ヶ月)実施中
- スイッチ試験
2010年3Q開始、継続中

■ 統合失調症 計画中の試験

- メンテナンス試験: 2011年3Q開始予定
- 20mg/日の低用量試験: 2012年2Q開始予定
- 小児(13-17歳)対象のPK試験: 2011年3Q開始予定
- 小児(13-17歳)対象の有効性試験: 2012年2Q開始予定

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況(2)

米国(続き)

■ 双極性障害(うつ) 第Ⅲ相試験(PREVAIL試験)

- PREVAIL#1: プラセボ対照試験-併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与)
2009年4月開始
- PREVAIL#2: プラセボ対照試験-単剤療法
2009年4月開始
- PREVAIL#3: プラセボ対照試験-併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与)
2010年12月開始
- 2012年前半、適応追加申請予定

■ 検討中の試験

- 双極性障害メンテナンス: 2011年3Qに試験開始予定
- 大うつ(混合症状): 2011年2Qに試験開始予定
- IMデポ剤

国内(Pan-Asia)開発

- 日本、台湾、韓国で統合失調症患者に対する第Ⅲ相試験
- 試験終了、解析中

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。